

VOICE



▲電気電子棟中庭の桜



▲工学部の銀杏並木



▲プログラムのシンボルマーク

東野 豊

2009年大学院博士前期課程修了
ソニー (株)

2003年に電気電子工学に入学以来、電子物性デバイス工学を軸に通信工学や電気エネルギー工学などを幅広く学びました。また、学部4年の卒論から大学院博士前期課程修了までの3年間は電子物性デバイス講座において電子ビーム法による超伝導薄膜作製の研究を行いました。この研究生活では、自ら実験計画を立て薄膜を作製し、その薄膜特性の測定結果から結論を導き出すという一連の研究過程を経験することにより、主に問題解決能力を身に付けることができました。



現在、私はソニー (株) にてデジカメなどに使われるイメージセンサの設計技術の研究開発を行っています。電子物性の知識はもちろんのこと、学部時代に学んだ様々な分野の専門知識や、大学での研究過程で得た問題解決のプロセスなど、電気電子工学で培ってきたあらゆる力が実際に役立っています。皆さんも夢を実現させる第一歩として電気電子工学で多くを学んでみませんか。たくさんの貴重な人との出会いや充実した学生生活が待っていると思います。

川畑 陽一

2006年大学院博士前期課程修了
中部電力 (株)

現在、私は中部電力 (株) 火力発電所で電気分野の保守管理に携わっており電力安定供給のための長期的な運用計画および各種修繕工事計画の立案等を行っています。(写真は、発電所で撮影したもので、背後にあるのが発電機です。修繕工事は専門の業者が行います。)



私が電気電子工学で電気を学ぶことにした理由は、今の生活に電気の技術は不可欠であり、今後も進化し続けるものであると考えたからです。本学科では、電磁気学といった専門基礎科目の習得や多くの実験を通じて電気に関する理解を深めることができました。大学院では、自由な発想で納得のいくまで実験を行い、自分で問題提起し解決することを繰り返して、夢中になってのめり込める環境でした。今振り返ると無駄な実験も多かったのですが、一見無駄の積み重ねとも思える期間は、今の仕事への取り組み方の礎になっており、重要な時期であったと考えています。

課題に対し、積極果敢にチャレンジし、何事も自分の意思と信念をもって「楽しくやること」。こうした実践をひとつひとつ着実に積み重ねることが、技術者を目指す皆さんに必要なことであり、本学科にはその環境があると考えます。

井ノ上 貴之

2009年大学院博士前期課程修了
富士通 (株)

みなさんは将来やりたいこと、将来働きたい仕事は決まっていますか。

電気電子工学ではエネルギー分野だけではなく、デバイス分野、通信分野など、多岐にわたる分野を学ぶ事ができ、それによって多角的な視点が養われ、また興味の枠が広がることでやりたいこともきつと見つかります。



私自身、3年生までは通信システム工学の分野で通信工学、コンピュータ工学、プログラム言語、システム工学などに関する基礎的な専門知識を学び、その中でやりたいことを見出し、4年生から大学院までは、強化学習と呼ばれる人工知能に関する研究を行ってきました。電気電子工学がカバーする

幅広い選択肢のおかげで、私は興味がある分野やテーマを見出すことができ、自分がやりたいことの研究に取り組むことができています。

現在、私は富士通 (株) にてソフトウェア開発者として財務情報を扱うソフトウェアの開発を行っています。優れた製品を作るためには、ただ優れたプログラムを設計するだけではなく、お客様のニーズであったり、市場の流れを察知することが重要な要素になっており、大学時代に培った多角的な視点や本質を追求する探究心が、今の仕事に活かされていると実感しています。みなさんも多くの選択肢に恵まれている本学科で、自分のやりたいことを見出し、それに挑戦してください。

井手 祐二

1979年工学部電子工学科卒業
(株)東芝に入社、現在、米国Pixera社 社長 & CEO

東芝でビデオカメラおよび画像機器の研究開発をてがけ、15年の勤務後退社。渡米しシリコンバレーで1995年に日本人として初めての米国内ベンチャー企業Pixera (ピクセラ) 社を起業しました。2002年 (平成14年) 1月11日の日本経済新聞全国版の一面に「変革の道 個が開拓」として紹介されました (以下の新聞記事)。また、NHK総合テレビの21時のニュース特集にも出演し紹介されました。



Q&A 電気電子工学プログラム

- Q: 電気電子工学プログラムでは、何を学ぶの?
A: 一口に「電気電子工学」といっても領域が非常に広いので、「電子物性デバイス工学」「電気エネルギー工学」「通信システム工学」という3つの分野を設定し、教育と研究を行っています。まず電気電子工学の基礎となる電磁気学と電気回路学などを修得し、その後、各分野の基礎と応用を学びます。また実験を通じて、「電気」と「電子」の世界に足を踏み入れることとなります。卒業研究は、電気電子工学の研究や技術開発を行う研究者や技術者としてのスタートラインと言えるでしょう。電気電子工学プログラムは、電気電子工学の最先端分野を開拓し発展させる力を持った人材の育成を目的としています。
- Q: 電気電子工学を学ぶには、どんな知識が必要なの?
A: 物理、数学、英語.....受験勉強も必要ですが、いろいろなことに興味をもつことが大切です。
- Q: 大学院に進学したいのですが?
A: 例年、卒業生の約半数が2年間の博士前期課程へ進学しています。大学院では、研究室に所属し、研究を中心に専門的な授業を履修します。さらに、他の技術者や研究者との交流を深め、学会などに参加して活躍の場を与えられます。さらに深く研究したい人には、3年間の博士後期課程へ進学する道もあります。研究者としての成果をあげれば、「博士 (工学)」の学位を取得することができます。



鹿児島大学 工学部 先進工学科 Kagoshima University 電気電子工学プログラム Electrical and Electronics Engineering Program



▶ <https://www.eee.kagoshima-u.ac.jp>

鹿児島大学工学部 先進工学科 電気電子工学プログラムから受験生の皆様へ

元気でやる気のある人 ものに作りに興味のある人 電気電子の分野に興味のある人
努力に勝る才能はない!!

夢を実現するために、鹿児島大学電気電子工学プログラムは、君達をサポートします。

工学部でも、ずば抜けた就職率!
電気は就職先の質も超一流!

就職で 絶対に苦勞はさせません!
学校推薦でほぼ100%が
一流企業へ就職!

※公務員や放送局などは基本的に自由応募です。

- 工学部卒業生は、広範囲な産業界で活躍している。
- また、大学を卒業してさらに学問・研究を重ね、高度専門技術者や研究者を志す大学院進学者が増えています。
- 就職人気ランキング上位のメーカーは、大学院修了者を優先的に採用するケースが多い。

大学院へ進学 60%

卒業後の進路

電気電子工学プログラム (旧: 電気電子工学科) を卒業する学生の約60%が大学院へ進学し、さらに専門的な知識を身につけるため研究を行います。また、残り40%の学生は企業や官公庁に就職し、在学中に培った力を実社会で試みます。就職先は、下記のように、電力、電気・電子機器メーカーだけでなく、幅広い業種にまたがっています。

主な就職先企業名 (大学院工学専攻電気電子工学プログラム修了者も含む 就職人数)

九州電力 (85)	ドコモCS九州 (13)	ダイキン工業 (8)	日本無線 (6)
ソニーセミコンダクタソリューションズ (76)	川崎重工業 (13)	南日本情報処理センター (8)	日立情報通信エンジニアリング (6)
三菱電機 (69)	N T T (12)	フェニテックセミコンダクター (8)	日本ガス (6)
京セラ (69)	日立システムズ (12)	N E C プラットホームズ (8)	トヨタ自動車九州 (6)
日立製作所 (45)	ダイハツ工業 (12)	住友電気工業 (8)	アイシン (6)
富士電機 (43)	ミネベアミツミ (12)	デンソー (8)	日本電産 (6)
富士通 (41)	キヤノン (11)	I H I (7)	JFEプラントエンジニア (6)
東芝 (35)	スズキ (11)	メイテック (7)	富士通鹿児島インフォメーション (5)
パナソニック (32)	ソフト流通センター (11)	エクシオグループ (7)	名村造船所 (5)
九電工 (29)	N H K (10)	大王製紙 (7)	三菱自動車工業 (5)
安川電機 (22)	N T T ドコモ (10)	日本プロセス (7)	三菱電機ソリューションズ (5)
シャープ (20)	ソニーグループ (10)	日本製鉄 (7)	ユピテル鹿児島 (5)
ダイヘン (19)	宮崎放送 (10)	日本軽金属 (7)	西日本鉄道 (5)
本田技研工業 (18)	三菱重工業 (10)	関西電力 (7)	吉川工業ソリューションズ (5)
明電舎 (18)	東京エレクトロン九州 (10)	アイコム (7)	九州通信エンジニアリング (5)
ルネサスエレクトロニクス (17)	日本電気通信システム (10)	アズビル (7)	
きんでん (17)	三菱電機ソリューションズ (10)	K D D I (6)	
中部電力 (16)	ファナック (10)	村田製作所 (6)	
セイコーエプソン (15)	トヨタ車体研究所 (10)	いすゞ自動車 (6)	
ソニーセミコンダクタソリューションズ (15)	ジェイデバイス (9)	オービック (6)	
ヤマハ発動機 (15)	パナソニック コネクタ (9)	メディキット (6)	
東京電力 (15)	マツダ (9)	九州旅客鉄道 (6)	
NSW (13)	京セラコミュニケーションシステム (9)	西部電気工業 (6)	
日本電気 (13)	N T T ファシリティーズ (8)	日本アイティディ (6)	

国家公務員一般職 (旧 II 種) (9)
鹿児島市役所 (8)
その他の公務員 (21)
博士後期課程 (5)

※1993年3月~2023年3月卒の合計が5名以上の企業 (ただし、新卒者のみ、院生含む)
※企業名は社名変更 (合併等) を考慮